

# 京都府の地震活動

令和6年（2024年）4月

第 37 卷 4 号

## 京都地方気象台

### 目次

震央分布図、概況	・・・1
震央分布図、断面図	・・・2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・4
【地震一口メモ】南海トラフ地震臨時情報について (17日に発生した豊後水道の地震関連)	・・・5

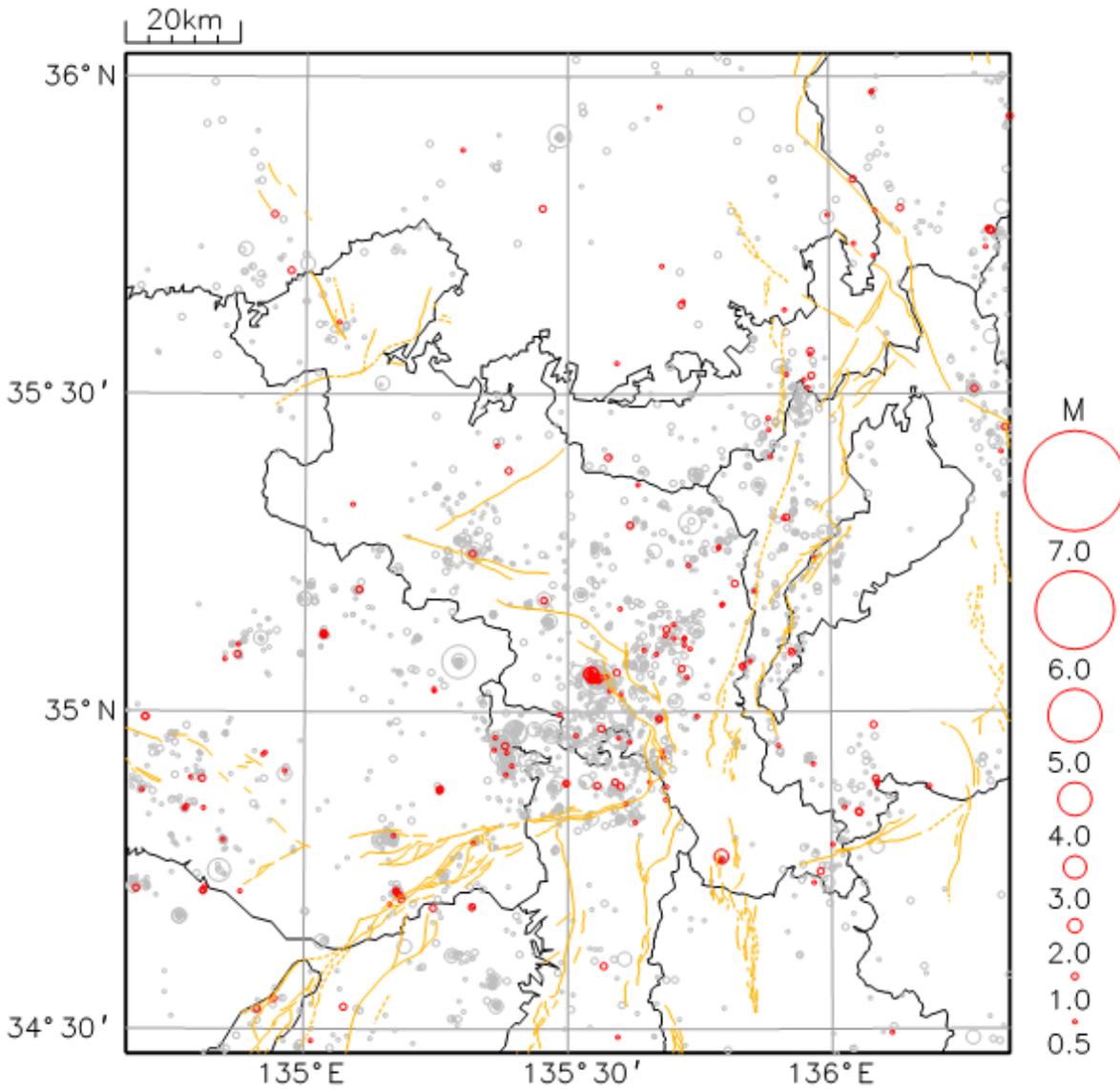
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

## 震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・（2023年5月1日～2024年4月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2024年4月の地震を赤く表示（総数201）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。
- ・オレンジ色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

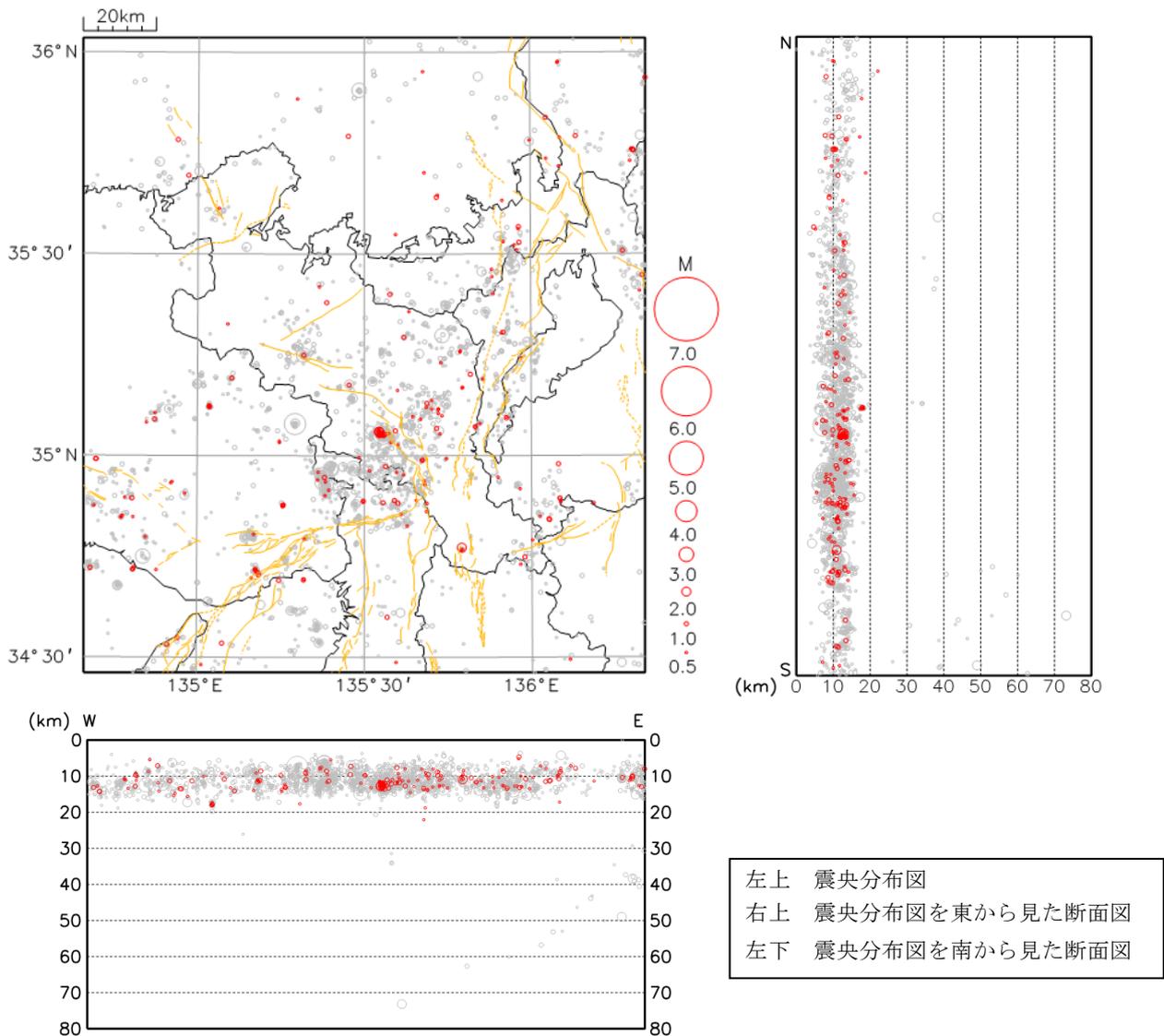
### 概況

4月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は3回、震度1以上の揺れを観測した地震はありませんでした（3月はそれぞれ6回、4回）。

京都府内で震度1以上を観測した地震は1回でした（3月は4回）。

17日23時14分豊後水道の地震（図の領域外：深さ39km、 $M6.6$ ）により、京都府京丹後市、久御山町で震度2を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて及び伊豆諸島で震度6弱～1を観測しました。

## 震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・ (2023年5月1日～2024年4月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ )
- ・ 2024年4月の地震を赤く表示（総数201）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。
- ・ 橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

## 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2024年4月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	4月17日	23:14	豊後水道	33° 12.0'	132° 24.5'	39	6.6

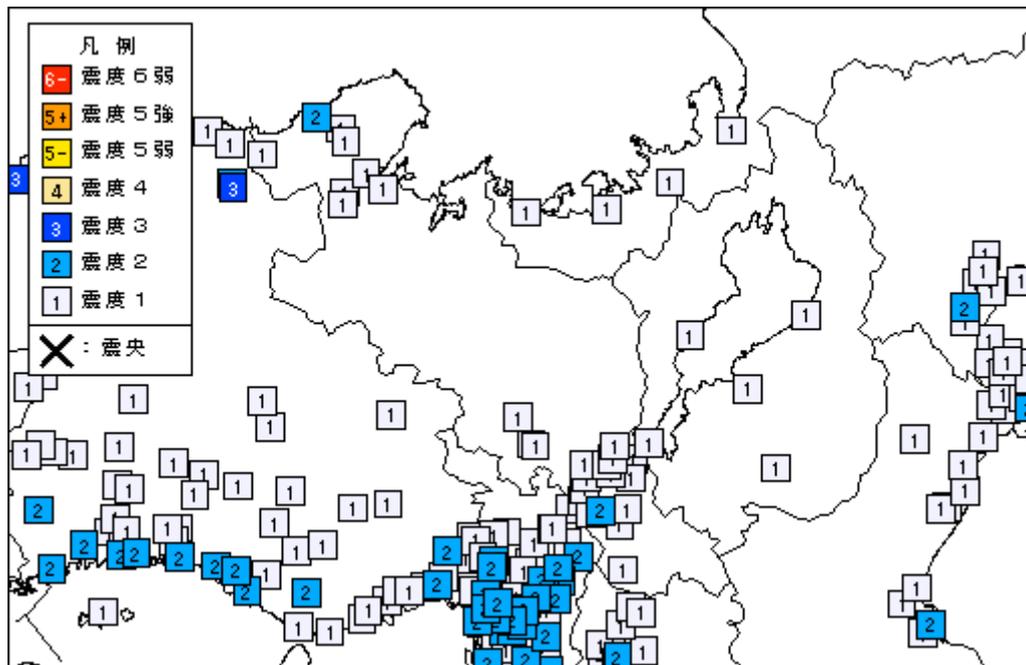
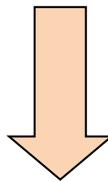
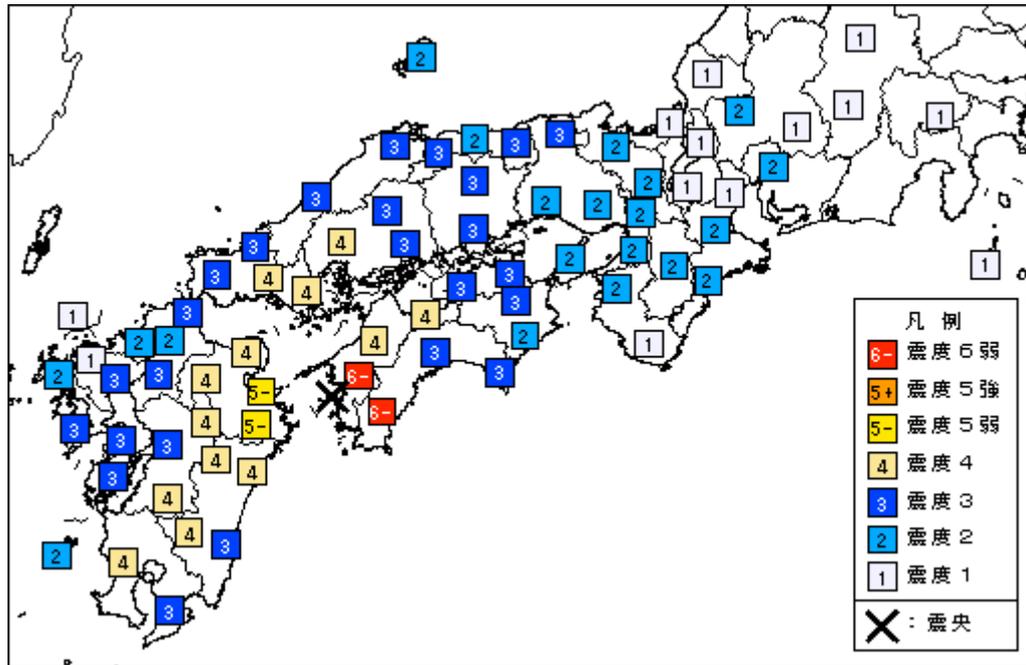
地域	震度観測点	所属	各地の震度
			①
北 部	福知山市内記	気	-
	福知山市長田野町	防	-
	福知山市三和町千束	自	-
	福知山市夜久野町額田	自	-
	福知山市大江町河守	自	-
	舞鶴市下福井	気	-
	舞鶴市浜	防	-
	舞鶴市北吸	自	-
	綾部市若竹町	自	-
	宮津市柳縄手	自	1
	伊根町亀島	防	-
	伊根町日出	自	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	1
	京丹後市久美浜町広瀬	防	1
	京丹後市峰山町	自	-
	京丹後市大宮町	自	-
	京丹後市丹後町	自	-
	京丹後市久美浜市民局	自	1
	京丹後市網野町	自	2
	京丹後市弥栄町溝谷	自	1
南 部	与謝野町加悦	自	1
	与謝野町岩滝	自	1
	与謝野町四辻	自	1
	京都北区大宮西脇台町	自	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-
	京都左京区広河原能見町	防	-
	京都左京区田中	自	-
	京都中京区西ノ京	気	-
	京都中京区河原町御池	自	1
	京都東山区清水	自	-
	京都下京区河原町塩小路	自	1
	京都南区西九条	自	1
京都右京区京北周山町	自	-	
京都右京区太秦	自	-	

地域	震度観測点	所属	各地の震度
			①
南 部	京都伏見区竹田	自	1
	京都伏見区醍醐	自	1
	京都山科区安朱川向町	防	-
	京都山科区西野	自	1
	京都西京区櫻原	自	1
	京都西京区大枝	自	-
	宇治市宇治琵琶	気	1
	宇治市折居台	防	-
	亀岡市安町	気	1
	亀岡市余部町	防	1
	城陽市寺田	自	1
	向日市寺戸町	自	1
	長岡京市開田	自	1
	八幡市八幡	自	1
	大山崎町円明寺	自	1
	久御山町田井	自	2
	京田辺市田辺	自	-
	井手町井手	自	-
	宇治田原町立川	自	-
	笠置町笠置	自	-
和束町釜塚	自	-	
精華町南稲八妻	自	1	
南山城村北大河原	自	-	
京丹波町坂原	気	-	
京丹波町橋爪	自	-	
京丹波町本庄	自	-	
京丹波町蒲生	自	-	
南丹市美山町島	自	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	
南丹市八木町八木	自	1	
南丹市園部町小桜町	自	-	
木津川市加茂町里	自	-	
木津川市木津	自	-	
木津川市山城町上粕	自	-	

1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、4月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

① 4月17日 23時14分 豊後水道の地震 (M6.6、深さ39km) の震度分布図  
(上図：地域別、下図：観測点別)



## 【地震一口メモ】

### 南海トラフ地震臨時情報について（17日に発生した豊後水道の地震関連）

気象庁から発表される「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするものです。この情報の種類と発表条件は表1のとおりです。その内、南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合等は、条件に応じてキーワードを付加し、「南海トラフ地震臨時情報（キーワード）」の形で発表します（表1）。

表1 「南海トラフ地震に関連する情報」の種類及び発表条件と「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワード、各キーワードを付記する条件（気象庁ホームページ「リーフレット「南海トラフ地震-その時の備え-より」）

		(発表条件)	
 <b>南海トラフ地震臨時情報</b>	<b>キーワード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合</li> <li>■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合</li> </ul>	
		<b>調査中</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合</li> </ul>
		<b>巨大地震警戒</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合</li> </ul>
		<b>巨大地震注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合</li> <li>■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合</li> <li>■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合</li> </ul>
	<b>調査終了</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合</li> </ul>	
 <b>南海トラフ地震関連解説情報</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合</li> <li>■ 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）</li> </ul>	

今月 17 日 23 時 14 分に豊後水道の地震（深さ 39km、マグニチュード 6.6）が発生し、愛媛県、高知県で震度 6 弱を、京都府内では京丹後市、久御山町で震度 2 を観測しました。震源は、南海トラフ地震の監視領域内（図 1 に概ねの震央位置を記載）でしたが、マグニチュードが基準値（6.8）未満であったことから、南海トラフ地震の発生の可能性を評価する「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」は開催されませんでした。なお、主な地震については、翌月の始めに「令和〇年〇月の地震活動及び火山活動について」として報道発表され、詳しく取り上げられます。また、評価検討会は毎月定例で行っており、南海トラフ沿いで異常な現象等がないか等の調査結果を「南海トラフ地震関連解説情報」として発表しています。

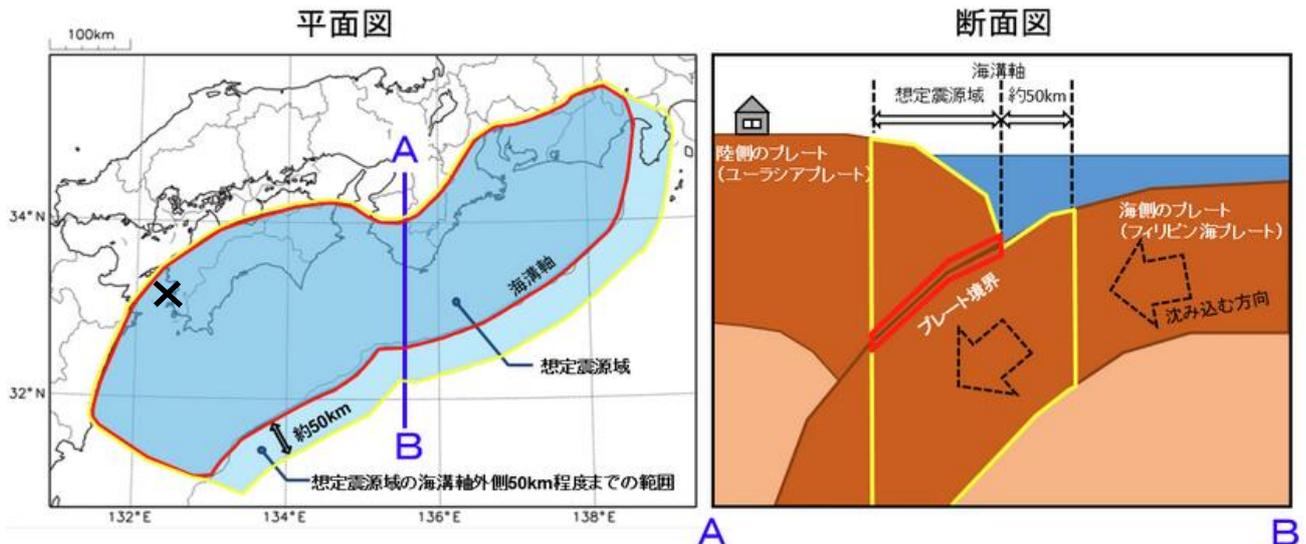


図1 想定震源域内（科学的に想定される最大規模の南海トラフ地震の想定震源域（中央防災会議、2013）のプレート境界部（図中赤枠部）と監視領域（想定震源域内および想定震源域の海溝軸外側50km程度：図中黄枠部）。×印は17日に発生した豊後水道の地震の概ねの震央位置（気象庁ホームページより）。

南海トラフ沿いでは、過去に繰り返し大きな被害をもたらす地震が発生しており、次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。日頃から十分な備えをお願いします。

※「南海トラフ地震に関連する情報」は、2023年10月、11月の地震一口メモでも詳しく取り上げていますので、そちらをご参照ください。

気象庁ホームページ「南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件」

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nteq/info\\_criterion.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nteq/info_criterion.html)

気象庁ホームページ「リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

気象庁ホームページ「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会とは」

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nteq/assessment.html>

気象庁ホームページ「令和6年4月17日23時14分頃の豊後水道の地震について（報道発表資料）」

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2404/18a/202404180110.html>

気象庁ホームページ「新着情報（報道発表＞一覧リンク）」

<https://www.jma.go.jp/jma/press/topics.html>

京都地方気象台ホームページ「定期刊行物」

[https://www.jma-net.go.jp/kyoto/2\\_data/publications/index.html](https://www.jma-net.go.jp/kyoto/2_data/publications/index.html)